

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	THE HOUSE大手町2期	階数	地上14F、地下1F
建設地	福岡県北九州市小倉北区大手町18	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	250 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 予定	評価の実施日	2013年9月30日
敷地面積	1,917 m ²	作成者	ブラックスチューディオ山下
建築面積	837 m ²	確認日	
延床面積	9,925 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境	3.2
温熱環境	4.4
光・視環境	2.7
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

建物の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	N.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.2
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 全63戸の集合住宅において、周辺の街並みに配慮した環境形成と、子育て世代の居住に対応した防犯・住戸計画を行った。		その他 ・住戸の玄関ホールに開放可能な窓を設け、南北の通風ルートの確保に努める。
Q1 室内環境 ・省エネ等級4相当の断熱性能。 ・遮音等級 T-2相当のサッシを採用。	Q2 サービス性能 ・階高を3060mm以上とした。 ・住居の天井高を2.5m確保した。	Q3 室外環境(敷地内) ・通りに面する部分を緑化し、街並みに寄与する。
LR1 エネルギー ・省エネ等級4相当の断熱性能。 ・高効率給湯器(エコキュート)の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水型便器の採用 ・構造部材、非構造部材の一部にリサイクル材を活用。 ・仕上げ材にF☆☆☆☆の建材を使用。	LR3 敷地外環境 ・街並みに調和するような色彩計画、照明計画を行った。 ・適切な駐車台数を確保し、かつ車寄せ設けることで、周辺の交通負荷を緩和。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される